

平成 2 9 年度

年 報

平成 30 年 3 月

富山県自然博物館ねいの里

# 目 次

## I 施設の概要

1	沿革	2
2	設置目的と役割	2
3	施設の概要	3
4	施設の変遷	4
5	指定管理者制度の導入	6

## II 利用状況

1	来館者数	6
2	団体来館者数	7
3	開催行事	7
4	ナチュラリスト活動	8
5	園外普及活動	8
6	実習生の受け入れ	9
7	鳥獣保護センターにおける傷病鳥獣の受け入れ	9
8	自然に関する相談件数	10

## III 県からの委託業務

1	野生鳥獣対策業務	10
2	富山県ニホンザル保護管理計画におけるモニタリング調査業務	10
3	ジュニアナチュラリスト活動支援事業	10
4	生物多様性保全推進アドバイザー事業	11
5	自然博物館「いこいの村富山移管施設」維持管理整備事業	11
6	富山県指定管理鳥獣捕獲等業務	11

## IV 自然塾の会の活動

1	組織	11
2	活動内容	11

## V 広報活動

1	ホームページの刷新	12
2	テレビ、ラジオへの協力・出演	12

## I. 施設の概要

### 1 沿革

昭和46年	5月	県民公園構想発表
昭和49年	6月	自然博物館基礎調査
昭和54年	8月	自然博物館基本設計
昭和55年	7月	自然博物館整備工事施工
昭和56年	6月2日	自然博物館 開園
昭和59年	10月	富山県鳥獣保護センター併設
昭和63年	10月	展示館の展示替えオープン
平成元年	10月	キジ野生化訓練場新設
平成10年	8月	イヌワシモニタリングシステム(南砺市小瀬)稼働
平成18年	4月	指定管理者制度導入
平成19年	3月	展示館の展示替えオープン(人と生き物との共生)
平成21年	4月	いこいの村移管施設(4.2ha)管理受託
平成27年	7月	入館者100万人達成
平成28年	4月	指定管理鳥獣(イノシシ、ニホンジカ)捕獲等事業本格実施

### 2 設置目的と役割

#### (1) 目的

人間が自然といかに付き合っていってよいかと言う大きな問題に対するアプローチとして「身近な自然の再発見」をテーマに、県民の誰でもが自然に親しみ、学べる場を設け、展示や野外の自然解説を通して、自然への興味、関心を高め、自然を愛し守り育てることを目的としている。

#### 【基本となるテーマと理念】

- ① 自然に親しむ
- ② 自然に学ぶ
- ③ 自然を育てる

#### (2) 役割

上記のテーマと理念の実現を図るために環境教育を実施する役割を持っている。なお、環境教育の目標は次の5つを考えている。

- ① 自然に興味を持つ人を育てる。(自然への親しみ、自然への興味を養う)
- ② 自然を理解できる人を育てる。(自然仕組を学び科学的に見る目を養う)
- ③ 自然を愛する人を育てる。(自然や環境に対する感受性と愛情を養う)
- ④ 自然を守る人を育てる。(自然の中のマナーと環境に対する論理を養う)
- ⑤ 指導者を育てる。(自然解説・環境教育の理念と技術を養う)

この教育目標を達成させるための活動の理念としては、実物を通じた体験・生態的なものの見方・環境の多面的な見方・自然と人間の生活との関連についての見方等である。

さらに、近年来園者が急増している保育園、幼稚園児に対する館の役割として、普段あまり観察することのない身近な小動物の観察や自然の中での遊びを通して、上記の目標を達成できると考えている。

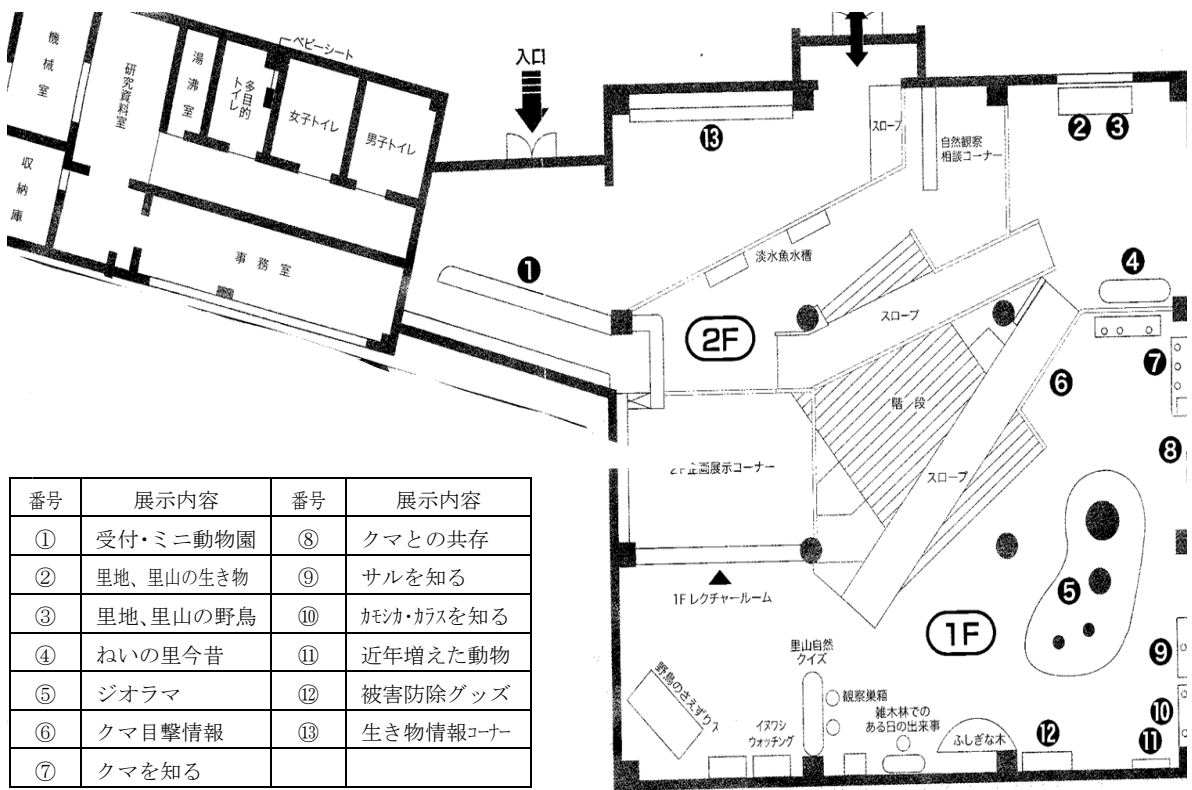
また、近年、希少野生動植物の絶滅の危惧、生物多様性保全の重要性、ツキノワグマやイノシシを始めとする人との軋轢が増加してきている野生動物との関係など、野生生物に関する新たな課題が発生してきている。これらの諸問題に対応するため、県の委託を受け各種調査や対策を実施している。

特に、平成28年度からは指定管理鳥獣（イノシシ、シカ）に関する調査や捕獲、狩猟者の育成などを目的とした、指定管理鳥獣捕獲等事業を受託している。

### 3 施設の概要

#### 1) 自然博物園センター

- (1) 建物の構造 鉄筋コンクリート造2階建て
- (2) 建物面積 延床面積726.54㎡
- (3) 施設内容  
1階 展示室、レクチャールーム  
2階 展示室、事務室、トイレ、研究資料室
- (4) 関連施設 野外倉庫 プレハブ平屋建て 延床面積9.93㎡  
駐車場3台、鳥獣野化訓練場

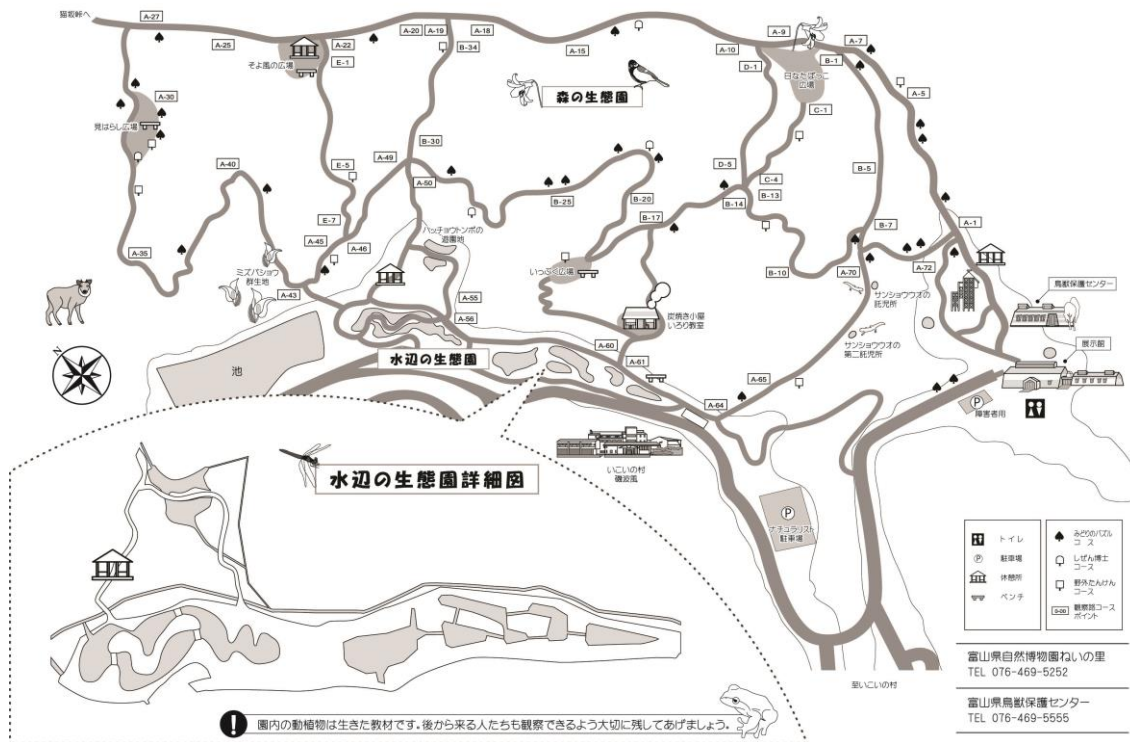


## 2) 鳥獣保護センター

- (1) 建物の構造 鉄筋コンクリート造 一部鉄筋金網造 1階建て
- (2) 建物面積 112.52㎡
- (3) 施設内容 救護室、飼育室8室
- (4) 関連施設 焼却施設 金属造

## 3) フィールド

- (1) 森の生態園 約138,000㎡
- (2) 水辺の生態園 約8,500㎡
- (3) 園路 1周約2km 自然観察路として整備
- (4) 工作物  
バッドハウス 1式 木造  
水辺の生態園休憩舎 1式 木造



## 4 施設の変遷

### 1) 野外学習施設

#### (1) 生態園の設置

サンショウウオ、モリアオガエル、ハッチョウトンボ、メダカ、テツギョ等の小動物を保護し野外観察の拠点とした生態園の整備を昭和61年4月から実施し、昭和63年度に標識を立て野外活動に利用している。また、昭和63年度には捨土場所を植物遷移の観察用生態園として設定し、5年毎に植生調査をしてその記録を表示している。(現在は「かたかごの丘」として整備)

また、平成15年度からいこいの村富山の水生庭苑整備を受託し、水辺のビオトープとして整備してきている。(平成22年度からは県有地となったため、県から受託)

## (2) 野外学習コース

開園時に設定した、しぜん博士コース・野外探検コース・緑のパズルコース等の野外学習コースを平成元年度から平成3年度にかけて更新した。なお、更新に当たっては、問題および設置場所の一部を更新した。

また、平成24年度には、しぜん博士コースと野外探検コースを統合し、新たにしぜん探検コースを設置した。

## (3) 遊具広場の設置

利用者層の変化に対応し、園地周辺の森の中で家族連れが楽しめるよう、手作り遊具のある広場を2カ所、林内を木道で散策できる細道を1カ所設置した。

ハンモック広場（平成26年度設置）

木馬の広場（平成27年度設置）

森の細道（平成29年度設置）

## 2) 第1回展示館の展示更新（昭和63年10月展示替え）

### (1) 展示の主な特徴

イ. 実物を通し体験できる展示及び機器の導入。

ロ. 季節的に入れ替えができる展示。

ハ. 展示の対象地域を「ねいの里」フィールドから県内一円に拡大する。

### (2) 展示替えにより新設した内容

全方位観察ボックス・立体投影器・私たちの仲間・フィールド玉手箱・海辺の鳥たち・サンショウウオの水槽・2万年前の「ねいの里」(石器)・カモシカの剥製・富山の四季の生き物・クローズアップ

## 3) 第2回展示館の展示更新（平成19年3月展示替え）

「人と自然との共生」を目指し、クマやサルなど、人との間で軋轢のある動物などのはく製や生態についてのパネル展示、被害防除法などを新設した。

また、里山やそこに生息する生き物の紹介、渡り鳥の生態、昆虫標本や鳥のはく製などを一部更新した。

## 4) キジ野化訓練場の整備（平成元年10月完成）

最近、堤防の草刈がさかんになったことや麦畑が増えたことから、キジの卵が多く持ち込まれ、沢山の雛がかえり鳥獣保護センターの野化訓練室では収容しきれなくなったので野化訓練場を新設した。この野化訓練場は、雑木林を生かし自然に近い環境になっている。

また、キジのみならず、タヌキなどの哺乳類の野化訓練にも使用できるよう改良してきている。

## 5) その他施設の更新(随時)

施設の老朽化や利用者ニーズの変化に伴う施設の更新を随時実施している。  
主な更新施設は次のとおり。

- ・男女トイレの洋式化
- ・クイズコーナーの新設
- ・レクチャールームの冷暖房化

## 5 指定管理者制度の導入

平成15年6月に地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)が成立し、「指定管理者制度」が創設された。

この制度は、多様化する住民ニーズに効果的、効率的に対応するために公の施設の管理に民間事業者等のノウハウ等を活用しつつ、住民サービスの向上や経費の節減等を図ることを目的としている。

この制度により、これまで出資法人等に限られていた公の施設の管理を株式会社等の民間事業者やNPO団体等も行うことができるようになった。

富山県では、原則として公募により指定管理者を選定することとし、自然博物館ねいの里も指定管理者制度の対象施設となり、今年度は第3回目の指定管理期間の最終年度にあっている。

また、第4回の指定管理の公募も行われ、当財団が次期の5カ年間も指定管理者として選定され、当施設の管理運営にあたることになった。

これまでの指定管理期間は次のとおり。

回	期 間	指定管理者
第1回	2006年4月1日～2009年3月31日	財団法人 富山県民福祉公園
第2回	2009年4月1日～2013年3月31日	財団法人 富山県民福祉公園
第3回	2013年4月1日～2018年3月31日	公益財団法人富山県民福祉公園
第4回	2018年4月1日～2023年3月31日	公益財団法人富山県民福祉公園

## II 利用状況

### 1 来館者数

(1) 平成29年度来館者数

月 内訳	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
大人	1,062	1,970	1,089	784	980	1,080	972	721	447	447	329	569	10,450
子供	697	1,176	991	755	1,251	745	889	493	272	187	205	373	8,034
計	1,759	3,146	2,080	1,539	2,231	1,825	1,861	1,214	719	634	534	942	18,484

## (2) 開館以来の来館者数

S56	S57	S28	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3
28,608	47,356	37,633	46,653	58,585	60,825	55,174	43,211	43,944	35,586	43,450
H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14
42,298	35,524	27,602	26,770	25,873	27,598	23,581	21,260	21,523	20,007	18,449
H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
17,891	18,212	17,383	18,162	17,383	18,173	14,174	14,720	14,947	14,178	16,605
H26	H27	H28	H29							合計
17,801	18,994	20,583	<b>18,484</b>							<b>1,032,272</b>

## 2 団体来館者数

団体内訳	件数	人数
学校など(教育活動)	15件	729人
幼稚園、保育園	35件	2,065人
一般団体	69件	2,001人
子育て支援グループ等	155件	2,807人
合計	274件	7,602人

## 3 開催行事

月日	行事名	参加者(人)
4月1日～5月22日	日本鳥類保護連盟富山県支部「愛鳥写真展」	-
4月22日	春の森でチャレンジ	20
4月30日	春の自然とふれあい隊	43
5月7日	早朝バードウォッチング	26
5月14日	愛鳥週間・探鳥の日	23
5月24日～6月26日	愛鳥ポスター展	-
6月17日	竹細工づくりとヘイケボタル観賞	175
6月24日	竹細工づくりとヘイケボタル観賞	216
7月1日～8月3日	自然保護協会環境写真展	-
7月26・27日	夏休み自由研究支援教室	13
7月16日	ナチュラリスト養成講座(ねいの里研修)	60
7月15日～8月31日	県内のカブト・クワガタ展	-
7月29日	トンボの調査と標本づくり隊	31
8月4日～8月21日	環境月間ポスター展	-
8月26日	夜の昆虫大探検	37
8月23日～9月24日	秋の鳴く虫展	-
9月6日～11月23日	ねいの里キノコ写真展	-
9月10日	アサギマダラを調べ隊	20
10月1日	キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ	187



11月5日	木の実観察とクサギ染め	18
11月25日～3月31日	ロードキル写真展	-
12月13日～1月22日	春の七草実物展	-
12月16日	正月飾りづくり	46
1月4日～6日	「春の七草」頒布会	290
1月21日	冬の里山見つけ隊	15
2月11日	冬の生きもの観察と動物の体を調べる	49
3月18日	ねいの里の春見つけ！	33

#### 4 ナチュラリスト活動

昭和56年のねいの里開園以来、県のナチュラリスト活動の拠点として、シーズン中の土日祝日にナチュラリストの配置を行っている。

今年度においても、4月29日（祝）から11月5日（日）まで、1名（5月3～6日は2名）のナチュラリストを配置し、展示館とフィールドで自然解説や展示解説活動を行った。

#### 5 園外普及活動

野生動物による人身や農作物被害を防ぐための地域講習会の開催や、地域の野生生物保護活動などに対する講師派遣と、保育所の園児に対する生き物紹介などを行った。

期日	派遣先	派遣者	派遣内容
4月25日	県民カレッジ高岡	見浦	講師
5月13日	立山自然保護ネットワーク総会講演	赤座	講師
5月23日	上市高校総合的学習	赤座	出前講義
6月11日	富山県有機農業研究会	田中	出前講義
7月13日	速星幼稚園	館長・松崎	出前講座
8月3日	うさか保育園	館長・田中	出前講座
8月4日	みかど保育園	岡・田中	出前講座
8月6日	ナチュラリスト養成講座	赤座	講師
8月7日	ささくら保育園	館長・松崎	出前講座
9月16日	砺波市青島公民館	見浦	出前講義
9月23日	日本動物学会公開講演会	間宮	公開講義
9月27日	黒部市鳥獣被害対策実施隊講演	赤座	出前講義
10月3日	梅檀野幼稚園	館長・岩瀬中生徒	出前講座
10月16日	とやま市民大学	見浦	講師
10月22日	滑川市立博物館ジオパーク観察会	赤座	講師
12月2日	西布施農業振興会研修	間宮	出前講義
12月11日	魚津高校学校保健委員会	間宮	出前講義
12月18日	ナチュラリスト活動研修会	赤座	講師

H30			
2月8日	小矢部中ロータリークラブ講演	間宮	講師
2月21日	滑川市有害鳥獣対策講習会	赤座	講師
2月23日	富山市エコザル追い払いに関する研修会	赤座	講師
3月3～4日	TOGA森の大学校・森の暮らし塾	赤座	講師

## 6 実習生の受け入れ

### (1) 博物館実習

博物館実習を下記の内容で受け入れた。

氏名	中田 百合華 (立正大学地球環境科学部)
期間	平成29年7月24日～7月30日
内容	展示解説、生き物管理、鳥獣救護、哺乳類調査、行事補助

### (2) 社会に学ぶ「14歳の挑戦」

社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業で、富山市の下記の2校の中学校から計3名の生徒を受け入れた。

学校名	富山市立城山中学校	富山市立岩瀬中学校
氏名	瀬川 柊平 中崎 岳	大場 拓海
期間	平成29年10月2日～10月6日	
内容	館内清掃、生き物管理、生態園管理、鳥獣救護、哺乳類調査、出前講座補助	

## 7 鳥獣保護センターにおける傷病鳥獣の受け入れ

昭和59年の鳥獣保護センター開設以来、県と連携して、搬入された野生鳥獣に関して適正な治療を施し、鳥獣の種類ごとに区画された飼育室でリハビリを行った後、放鳥・放獣を行っている。

平成29年度の救護実績は次のとおりで、鳥インフルエンザのため、平成28年12月7日から鳥類の受入を停止していたが、平成29年5月12日から再開した。

また、平成30年度1月18日から2月7日まで、同様に鳥類の受け入れを中止した。

(個体数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
鳥類	0	50	61	36	20	15	13	9	7	2	8	8	229
獣類	2	0	4	5	2	1	0	0	0	2	2	0	18
卵	0	3	30	1	0	0	0	0	0	0	0	0	34
計	2	53	95	42	22	16	13	9	7	4	10	8	281

## 8 自然に関する相談件数

年間を通して、電話等で自然に関する様々な相談を受けており、適切に対応している。

	傷病鳥獣	自然全般	マスコ問合せ	行政問合せ	その他	計
哺乳類	27	10	1	0	0	38
鳥類	235	34	3	2	1	275
その他脊椎動物	0	6	0	2	0	8
無脊椎動物	0	14	1	0	0	15
植物	0	12	0	0	0	12
菌類	0	14	0	0	0	14
その他	0	0	0	0	2	2
計	262	90	5	4	3	364

## Ⅲ 県からの委託業務

### 1 野生鳥獣対策業務

野生鳥獣の管理に関する次の事業を実施するため、県自然保護課及びねいの里に野生鳥獣対策推進員と野生鳥獣共管理員を配置した。

それぞれ実施した業務は次のとおり。

#### □ 野生鳥獣対策推進員

- (1) 野生鳥獣保護管理の企画・調査・研究に関する業務
- (2) 野生鳥獣と人との共生に関わる専門的助言・指導
- (3) 野生鳥獣の各種モニタリング調査の実施
- (4) その他、事業に関連する必要な業務

#### □ 野生鳥獣共管理員

- (1) 県民に対する生物多様性保全に関する普及啓発活動及び現地調査
- (2) 鳥獣保護管理計画の策定に伴う普及啓発活動
- (3) その他、事業に関連する必要な業務

### 2 富山県ニホンザル保護管理計画におけるモニタリング調査業務

農業に被害を及ぼしているニホンザルの群れの分布、行動圏域を把握するためのモニタリング調査の実施、報告書の作成（行動域調査、個体群調査、群れ構成調査等）。

### 3 ジュニアナチュラリスト活動支援事業

将来の優れた県ナチュラリストを養成するため、ジュニアナチュラリストに対して、県ナチュラリスト等と連携し、自然観察会及び研修活動への参加の機会を提供し、ジュニアナチュラリストによる自然体験活動を推進した。

具体的には、次の3事業を実施した。

- (1) 自然解説活動の体験

県ナチュラリスト等の指導のもとに、自然解説の一部を担当するなど自然解説活動を行った。

(2) 自然観察活動の体験

自然博物館ねいの里等開催された自然観察会に参加し、自然観察や解説方法についての理解を深め、将来のナチュラリスト活動に役立てた。

(3) 研究活動

ジュニアナチュラリストとして、アサギマダラ調査など研究課題を持ち研究調査活動に取り組み、資質の向上に役立てた。

#### 4 生物多様性保全推進アドバイザー事業

生物多様性保全に関する専門的な知識と豊富な経験を有する人材を、生物多様性保全アドバイザーとして自然博物館ねいの里に配置し、生物多様性の普及に関する次の業務を行った。

- (1) ねいの里におけるレッドリスト掲載種の普及啓発
- (2) 鳥獣救護に関する適切な助言・指導
- (3) ジュニアナチュラリスト等への環境教育活動における指導
- (4) その他、生物多様性の保全を効果的に推進するための助言・指導

#### 5 自然博物館「いこいの村富山移管施設」維持管理整備事業

「いこいの村富山」から移管を受けた水辺の生態園やねいの里専用駐車場などについて、①清掃業務、②草刈り等業務、③除雪業務等を行なった。

#### 6 富山県指定管理鳥獣捕獲等業務

県内に生息している指定管理鳥獣（イノシシ、ニホンジカ）の効率的・効果的な捕獲を実施するためのモデル事業を実施し、捕獲効果等を検証するとともに、経験の浅い狩猟者に対するOJT捕獲を実施した。

また、この結果から、指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画作成のための基礎資料を整理した。

### IV ねいの里自然塾の会の活動

#### 1 組織

ねいの里では、平成18年度より里山での生物多様性保全を目指した活動を中心とした『生き物ふれあい自然塾』を開校した。現在は、自然塾で活動した中心メンバーが独自の活動を行うため、「ねいの里自然塾の会」が組織されている。

#### 2 活動内容（自然塾の会独自事業のみ）

月 日	定 例 会 行 事 内 容	参加人数（人）
5月21日（日）	親子で道草 in ねいの里・初夏の章	67
11月12日（日）	親子で道草 in ねいの里・秋の章	66

11月19日(日)	つる植物の観察会	6
11月25日(土)	日本ビオトープ管理士会富山県支部との合同研修会	13
12月3日(日)	クリスマスリース作り	24
1月29日(日)	親子で道草・冬の章「冬の里山で遊ぼう」	51
3月19日(日)	総会	13

## V 広報活動

### 1 ホームページの刷新

従来のホームページを全面的にリニューアルし、わかりやすく検索しやすいページ構成にした。

また、リアルタイムの情報提供を行うため、自然情報ブログやツイッターを導入した。

Webアドレス：<http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

自然情報ブログアドレス：<http://neinosato.blog.fc2.com/>

### 2 新聞、テレビ、ラジオ等への協力・出演

年	月	日	氏名	内容	依頼者
29	4	3	間宮寿頼	ホクリクサンショウウオの産卵	北日本新聞・富山新聞
		27	間宮寿頼	ツキノワグマ	BBT
		30	富永館長	春の自然とふれあい隊	北日本新聞・富山新聞
	5	7	間宮寿頼	早朝バードウォッチング	富山新聞
		12	田中 純	音川交流センター事業(音川小学校4年生)	北日本新聞・富山新聞
		13	間宮寿頼	富山短大呉羽山観察会	北日本新聞・富山新聞
		21	石澤岩央	おや子で道くさ INねいの里	北日本新聞・富山新聞
		25	富永館長	森の細道開通式 モリアオガエル	北日本新聞・富山新聞
	6	9	見浦沙耶子	鳥獣保護センターの紹介	朝日新聞
		29	間宮寿頼・高松亮	こんにちは富山県です「鳥獣被害対策」	KNB
	7	14	富永館長	空中散歩「ねいの里」	北日本新聞
		19	田中 純	音川交流センター事業 (音川小学校4年生)	北日本新聞・富山新聞 上婦負ケーブルテレビ
		28	富永館長	カブトクワガタ展、自然保護協会写真展	NHK
	9	4	—	ミズアオイ取材	富山
		11	松崎 勇	チョウの取材	上婦負ケーブルテレビ
		27	富永館長	キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ(TV取材)	KNBラジオ
	11	30	富永・岡・赤座・ 間宮・見浦	ものしり富山学	とやまCITY FM

	12	13	間宮寿頼	ツキノワグマの生態取材	NHK
		20	富永館長	七草実物展	NHK
		28	富永館長	七草実物展	北日本新聞
29	1	4	富永館長	「春の七草」頒布会	北日本新聞・富山新聞 チューリップTV 上婦負ケーブルテレビ
	1	18	赤座久明	サルによる農作物被害について	朝日新聞
	2	11	間宮寿頼	冬の生き物観察と動物の体を調べる	北日本新聞
		28	富永館長	ヤマアカガエルの産卵	富山新聞
	3	1	富永館長	ヤマアカガエルの産卵	読売新聞
		5	岡 圭一	ホクリクサンショウウオの産卵	北日本新聞
		15	富永館長	ホクリクサンショウウオ、ヤマアカガエルの卵、その他早春の話題	とやまCITY FM (生放送)
		18	富永館長	春見つけ	北日本新聞